



## 3次元振動台を用いた機器類や家具等の地震時安全性検証 水平2方向+上下動のリアルな地震波再現による各種装置等の耐震対策

技術分野分類 2201：社会システム工学・安全システム、5801：建築構造・材料

技術キーワード 地震防災、労働安全衛生

産業分類 E-30：情報通信機械器具製造業、E-13：家具・装備品製造業

内 容	概要	各種機器類（サーバ、ネットワーク機器等の重要設備、医療機器、家具、等の耐震性能確認や耐震対策の開発を支援し、大地震時の安全確保や事業継続計画（BCP）を支援する。具体的には、各種建物および部材の耐震性能評用に整備された3次元震動台を用いることにより、直下型を始めとする大地震の揺れを建物の応答を含めてリアルに再現した上で再現実験と分析をする。
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	地震波再現精度の高い3次元震動台を用いることにより、通常の起震車による地震体験とは異なり、直下型を始めとする大地震の揺れまでリアルに再現することが可能である(a)。また、保有するシステムと連動し、建物の応答特性を含めた上で検討が可能である(b)。
	本技術の有用性	建物の応答解析システムや計測システムと連動することにより、高度な検討を実施することが可能であり、各種機器類や家具等の具体的な耐震対策の検討に対する具体的な提言を実施することが出来る(c)。
関連情報 (図・表・写真等)	(a)	  
適用可能製品	各種重要機器（コンピュータ、サーバ、医療機器、製造機械）、家具、そのほか	
技術シーズ 保有者	氏名 所属・役職	武藤 厚（むとう あつし） 名城大学理工学部 建築学科 教授
技術シーズ 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	名城大学 学術研究支援センター 052-838-2036 / 052-833-7200 sangaku@ccml.meijo-u.ac.jp

### ■知的財産

#### ■試作品状況

無



提供可

作成日 2013年11月11日